**北極域研究加速プロジェクト（ArCS Ⅱ）**

**2022年度　海外交流研究力強化プログラム（第2回公募）**

**「海外交流計画」申請書**

**１．海外交流計画名**

|  |  |
| --- | --- |
| 海外交流計画名 | 和文　 |
| 英文　 |

**２．代表責任者（コーディネーター）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 漢字 | （姓）　 | （名） |
| ローマ字 | （姓）　 | （名） |
| フリガナ | （姓）　 | （名）　 |
| 所属機関名 | 和文 |  |
| 英文 |  |
| 職名 | 和文 |  |
| 英文 |  |
| 最終学歴 |  |
| 学位・取得年月 | 　　　　　　　　　　　　・（西暦）　　　年　　　　月 |
| 研究室・研究グループ名 | 和文 |
| 英文 |
| 連絡先 | 所在地 | 〒 |
| Eメール |  |
| 電話番号 |  |

**３．海外交流計画の目的および概要**

海外交流計画の目的および概要を下の枠内に簡潔に記載してください。

|  |
| --- |
|  |

**４．実施内容**

**（１）実施内容概要・達成すべき目標**

海外交流計画で実施する活動内容の概要および達成すべき目標を1頁以内で記載してください。図表を含めても構いません。海外交流計画において「先住民・地域コミュニティ」との関係が含まれる場合はあわせて記載してください。

|  |
| --- |
|  |

**（２）海外交流計画の準備状況**

海外交流計画の準備状況を具体的に下の枠内に記載してください。図表を含めても構いません。

|  |
| --- |
|  |

**（３）日本側および海外連携機関との役割分担**

海外交流計画の日本側および海外連携機関の役割分担を具体的に下の枠内に記載してください。図表を含めても構いません。

|  |
| --- |
|  |

**（４）年次計画**

年次計画の実施内容を予算計画との関係が明確に分かるように具体的に記載してください。図表を含めても構いません。必要に応じて枠を広げて記載してください。

|  |
| --- |
|  （2022年度）（2023年度）（2024年度） |

**５．海外交流計画により見込める成果、およびアウトカム**

海外交流計画の実施により見込める成果（論文、国際ワークショップ・共同セミナー等での成果発表、プレス発表等）、プロジェクトゴールへの貢献、およびアウトカム（海外連携機関との覚書締結、若手研究者のキャリアアップ促進、共同研究プロジェクトへの発展等）について、具体的に１頁以内で記載してください。図表を含めても構いません。

|  |
| --- |
|  |

**６．実施体制**

（１）日本側の実施体制

所属機関ごとにコーディネーター以外の実施メンバーをすべて記載してください。日本側実施メンバーは、4機関以内かつ応募時点で最低５名以上とし、若手研究者を２名以上含めてください。

※実施メンバーの詳細に関しては、募集要項3ページ「2募集する海外交流計画の概要　4）実施体制」を参照してください。

※実施体制に研究協力者が含まれており、その所属機関からの参加者が研究協力者のみの場合、研究協力者の所属機関を応募時点での機関数制限より除外することとします。なお、研究協力者の参加は必須ではありません。

※参加の可否が申請時点で不確定な実施メンバーがいる場合、参加予定人数を備考欄に記載してください。ただし本公募の応募条件における実施体制の適否を判断するため、４名以上の実施メンバー（うち若手研究者2名以上）についてはすべての項目について記載してください。

所属機関ごとに実施メンバーを記入してください。機関数やメンバーの人数に応じて適宜枠を増やしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 所属機関名① | 和　　 文 |  |
| 英　　 文 |  |
| 1 | 当該計画における身分（該当欄チェック） | [ ] 海外交流計画分担者　　　[ ] 若手研究者[ ] 若手研究者（大学院生）　[ ] 研究協力者 |
| 氏名 | 漢字 | （姓）　 | （名）　 |
| ローマ字 | （姓）　 | （名）　 |
| フリガナ | （姓）　 | （名）　 |
| 職名 | 和文 |  |
| 英文 |  |
| 最終学歴 |  |
| 学位・取得年月 | 　　　　　　　　　　　　・（西暦）　　　年　　　　月 |
| 専門分野 |  |
| 2 | 当該計画における身分（該当欄チェック） | [ ] 海外交流計画分担者　　　[ ] 若手研究者[ ] 若手研究者（大学院生）　[ ] 研究協力者 |
| 氏名 | 漢字 | （姓）　 | （名）　 |
| ローマ字 | （姓）　 | （名）　 |
| フリガナ | （姓）　 | （名）　 |
| 職名 | 和文 |  |
| 英文 |  |
| 最終学歴 |  |
| 学位・取得年月 | 　　　　　　　　　　　　・（西暦）　　　年　　　　月 |
| 専門分野 |  |
| 3 | 当該計画における身分（該当欄チェック） | [ ] 海外交流計画分担者　　　[ ] 若手研究者[ ] 若手研究者（大学院生）　[ ] 研究協力者 |
| 氏名 | 漢字 | （姓）　 | （名）　 |
| ローマ字 | （姓）　 | （名）　 |
| フリガナ | （姓）　 | （名）　 |
| 職名 | 和文 |  |
| 英文 |  |
| 最終学歴 |  |
| 学位・取得年月 | 　　　　　　　　　　　　・（西暦）　　　年　　　　月 |
| 専門分野 |  |
| 4 | 当該計画における身分（該当欄チェック） | [ ] 海外交流計画分担者　　　[ ] 若手研究者[ ] 若手研究者（大学院生）　[ ] 研究協力者 |
| 氏名 | 漢字 | （姓）　 | （名）　 |
| ローマ字 | （姓）　 | （名）　 |
| フリガナ | （姓）　 | （名）　 |
| 職名 | 和文 |  |
| 英文 |  |
| 最終学歴 |  |
| 学位・取得年月 | 　　　　　　　　　　　　・（西暦）　　　年　　　　月 |
| 専門分野 |  |
| 5 | 当該計画における身分（該当欄チェック） | [ ] 海外交流計画分担者　　　[ ] 若手研究者[ ] 若手研究者（大学院生）　[ ] 研究協力者 |
| 氏名 | 漢字 | （姓）　 | （名）　 |
| ローマ字 | （姓）　 | （名）　 |
| フリガナ | （姓）　 | （名）　 |
| 職名 | 和文 |  |
| 英文 |  |
| 最終学歴 |  |
| 学位・取得年月 | 　　　　　　　　　　　　・（西暦）　　　年　　　　月 |
| 専門分野 |  |
| 備　考 | 上記の実施メンバー以外に、申請時点で海外交流計画への参加可否が不確定な実施メンバ―候補がいる場合はその参加予定人数を記入すること |
| 海外交流計画分担者：　　　　名 | 若手研究者：　　　　名 |
| 若手研究者（大学院生）：　　　　名 | 研究協力者：　　　　名 |

（２）海外連携機関の実施体制／Implementation system of overseas partner institutions

海外連携機関の海外実施メンバーは同一機関内の複数名で構成し、若手研究者を1名以上含めてください。複数機関との連携の場合、機関ごとに複数名（コーディネーターと若手研究者各１名以上）の参加が必要です。

※当該機関の事情により申請時にメンバーの情報を記入できない場合は、その参加人数を備考欄に記載してください。ただし本公募の応募条件における実施体制の適否を判断するため、海外コーディネーターおよび若手研究者の各１名についてはすべての項目を記載してください。

The overseas implementation members of overseas partner institutions should consist of multiple members in the same institution, including at least one early-career researcher. In the case of collaboration with multiple institutions, participation of at least one coordinator and one early-career researcher is required for each institution.

\* If you cannot fill in the member information at the time of application due to the circumstances of the institution in question, enter the number of participants in the “Remarks” column. However, in order to judge the suitability of the implementation system under the application conditions for this open call for participants, fill in all the items for one overseas coordinator and one early-career researcher.

海外連携機関ごとに海外実施メンバーを記入してください。機関数やメンバーの人数に応じて適宜枠を増やしてください。

Enter the overseas implementation members for each overseas collaborative institution. Depending on the number of institutions or members, add columns as required.

|  |  |
| --- | --- |
| Organization海外連携機関名① |  |
| Position in this program当該計画における身分 | Overseas coordinator 海外コーディネーター |
| Full Name氏名 | (Family)　 | (First)　 | (Middle)　 |
| Department/Faculty所属部局名 |  |
| Position職名 |  |
| Educational Background最終学歴 |  |
| Degree・Year/Month received学位・取得年月 | 　　　　　　　　　　　　・Date: YYYY/MM　　　　　　　　　　　　・（西暦）　　　年　　　　月 |
| Laboratories・Research Group研究室・研究グループ名 |  |
| Contact/ E-mail連絡先/Eメール |  |
| Position in this program当該計画における身分 | Overseas early-career researcher 海外若手研究者 |
| Full Name氏名 | (Family)　 | (First)　 | (Middle)　 |
| Position職名 |  |
| Educational Background最終学歴 |  |
| Degree・Year/Month received学位・取得年月 | 　　　　　　　　　　　　・Date: YYYY/MM　　　　　　　　　　　　・（西暦）　　　年　　　　月 |
| Research Areas専門分野 |  |
| Position in this program\*Please check the applicable box. 当該計画における身分（該当欄チェック） | [ ] Overseas researcher 海外研究者[ ] Overseas early-career researcher 海外若手研究者 |
| Full Name氏名 | (Family)　 | (First)　 | (Middle)　 |
| Position職名 |  |
| Educational Background 最終学歴 |  |
| Degree・Year/Month received学位・取得年月 | 　　　　　　　　　　　　・Date: YYYY/MM　　　　　　　　　　　　・（西暦）　　　年　　　　月 |
| Research Areas専門分野 |  |
| Position in this program\*Please check the applicable box. 当該計画における身分（該当欄チェック） | [ ] Overseas researcher 海外研究者[ ] Overseas early-career researcher 海外若手研究者 |
| Full Name氏名 | (Family)　 | (First)　 | (Middle)　 |
| Position職名 |  |
| Educational Background 最終学歴 |  |
| Degree・Year/Month received学位・取得年月 | 　　　　　　　　　　　　・Date: YYYY/MM　　　　　　　　　　　　・（西暦）　　　年　　　　月 |
| Research Areas専門分野 |  |
| Remarks備　　 　　　　考 | Overseas researcher 海外研究者 　　　　Person(s)Overseas early-career researcher 海外若手研究者 　　　　Person(s) |

※ “An Early-Career researcher” means both a master/doctoral student and a person who acquired his/her master/doctoral degree within 10 years (as of April 1st, 2022).

**７．主要研究業績**（１）日本側実施メンバーの主要研究業績

海外交流計画の内容に限ることなく、最近５年以内の業績を記載してください。コーディネーターとそれ以外の実施メンバーで記載内容が異なりますので注意してください。

|  |
| --- |
| コーディネーター1. 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文（5件以内）
2. 学術雑誌等または商業誌における解説、総説
3. 書籍出版・受賞歴等
4. 会議・シンポジウム開催等
 |

|  |
| --- |
| コーディネーター以外の日本側実施メンバー　（メンバーごとに記載すること）学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文（5件以内） |

（２）海外連携機関メンバーの主要研究業績／Major research achievements of members of overseas partner institutions

海外連携機関側メンバーの主要研究業績（最近5年以内）を記載してください。海外コーディネーターとそれ以外の海外実施メンバーで記載内容が異なりますので注意してください。

Describe the major research achievements (within the last five years) of the members of the overseas partner institutions. Note that the information to be described differs between the overseas coordinator and other overseas implementation members.

|  |
| --- |
| 海外コーディネーター1. 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文（5件以内）
2. 学術雑誌等または商業誌における解説、総説
3. 書籍出版・受賞歴等

Overseas coordinator1) Papers published in academic journals, including bulletins and collections of papers (up to five items)2) Commentary and review articles in academic journals or commercial journals3) Published books, awards received, etc. |

|  |
| --- |
| 海外コーディネーター以外の海外実施メンバー（メンバーごとに記載すること）学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文（5件以内）Overseas implementation members other than overseas coordinators (describe for each member)Papers published in academic journals, including bulletins and collections of papers (up to five items) |

**８．研究経費**

経費の計算にあたっては、「2022年度経費等内訳書」をご使用ください。経費等内訳書は、海外交流計画応募時の提出は不要ですが、採択された海外交流計画については年度ごとの補助金交付申請（前年度2月）に向け提出が必要です。2022年度経費等内訳書については採択決定後に改めて提出を依頼します。

※経費等内訳書は円単位ですが、以下記載時は四捨五入の上、千円単位で記入してください。

※本プログラムでは、一般管理費の計上を可とします。計上する場合、一般管理費は直接経費（物品費、人件費・謝金、旅費、その他）の○％として記載してください。詳細は、募集要項11ページ「【参考資料】●支援対象項目」を参照してください。

**（全体）** （単位　千円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 物品費 | 人件費・謝金 | 旅費 | その他 | 一般管理費（直接経費の〇％） | 計 |
| 2022年度 |  |  |  |  |  |  |
| 2023年度 |  |  |  |  |  |  |
| 2024年度 |  |  |  |  |  |  |
| 計 |  |  |  |  |  |  |

**（1）物品費（消耗品費）**（単位　千円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 品名・仕様 | 数量 | 単価 | 金額 | 目的・使用場所 |
| 2022年度 |  |  |  |  |  |
| 小計 |  |  |
| 2023年度 |  |  |  |  |  |
| 小計 |  |  |
| 2024年度 |  |  |  |  |  |
| 小計 |  |  |
|  | 合計 |  |  |

**（2）人件費・謝金**（単位　千円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 事項 | 金額 | 業務内容 |
| 2022年度 |  |  |  |
| 小計 |  |  |
| 2023年度 |  |  |  |
| 小計 |  |  |
| 2024年度 |  |  |  |
| 小計 |  |  |
|  | 合計 |  |  |

**（3）旅費**（単位　千円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 事項（目的） | 金額 | 用務先 | 出張者・人数 | 期間 |
| 記入例 | （外国旅費）XXシンポジウム参加（国内旅費）研究打ち合わせ（招聘旅費）●●セミナー開催、研究打ち合わせ | 10001002500 | 〇〇大学XX研究所◇◇大学 | 国内コーディネーター、国内学生各1名国内若手、国内学生各2名海外コーディネーター1名、海外若手2名 | 10日間4日間14日間 |
| 2022年度 | （外国旅費）（国内旅費）（招聘旅費） |  |  |  |  |
| 小計 |  |  |
| 2023年度 | （外国旅費）（国内旅費）（招聘旅費） |  |  |  |  |
|  | 小計 |  |  |
| 2024年度 | （外国旅費）（国内旅費）（招聘旅費） |  |  |  |  |
|  | 小計 |  |  |
|  | 合計 |  |  |

**（4）その他**（単位　千円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 事項（件名） | 金額 | 目的・使用場所 |
| 2022年度 | （外注費）（印刷製本費）（会議費）（通信運搬費）（その他/諸経費） |  |  |
| 小計 |  |  |
| 2023年度 | （外注費）（印刷製本費）（会議費）（通信運搬費）（その他/諸経費） |  |  |
|  | 小計 |  |  |
| 2024年度 | （外注費）（印刷製本費）（会議費）（通信運搬費）（その他/諸経費） |  |  |
|  | 小計 |  |  |
|  | 合計 |  |  |

【記入上の注意／Notes on description】

・フォントサイズは、10.5ポイントとしてください。

・海外連携機関における海外実施メンバーの情報は、英数字で記入してください。

- The font size should be 10.5 points.

- Enter in alphanumeric characters for information on overseas implementation members in overseas partner institutions.